

## 自ら学び続ける教職員研修支援事業 活動報告書

グループ(学校)名 岐阜県立郡上特別支援学校

テーマ 「児童生徒のキャリア発達を目指した支援～子どもの内面を捉え、学びの過程に寄り添う～」

## 取組のポイント・成果

取組の内容とポイント

当校は、研修や校内研究に関わる活動として、職員同士の対話を月1回（研究の日）実施している。1人1回授業公開を行い、授業における子どもの言動に注目し、なぜ子どもがそうしたのか等の解釈についてを対話し、そこから得た学びをそれぞれの授業改善につなげている。また、年齢や役職を超えた職員同士で対話する機会にもなり、同僚性が深化することも期待して取り組んできた。

本支援事業を活用し、対話の活性化や学びを授業に還元していく仕組みづくりとそれに付随する同僚性のさらなる構築に向け、キャリア発達や職員研修に関係する学会に参加し、他校の取組を当校の研究活動の改善の参考にした。また、校内において校内研究に関連することについての報告を行い、子どもの見取りとその支援について研修する環境を提供した。

## 【自ら学び続ける教職員研修支援事業を活用して参加した学会】

- ・令和6年9月6日(金)～8日(日)開催 『日本特殊教育学会第62回大会(2024福岡大会)』
- ・令和6年11月30日(土) 開催『キャリア発達支援研究会 青森大会』(ポスター発表)

成果

- ・研究の日や校内研修の中で、全ての職員の見方・考え方を共有できるように、ラベルコミュニケーションやアクティブ・リスニングなどの手法を用いた職員同士の対話の機会を適宜設けることで、職員が自身の学びを整理したり、自分とは異なる視点での子どもの捉え方を知ったりしながら学びを深めることができた。
- ・『キャリア発達支援研究会』にて、金沢星稜大学 講師 柳川公三子先生とともに校内研究の実践に関するポスター発表を行い、参観者から多角的な視点を獲得し、校内研究の進行に生かした。
- ・参加した学会の中で学んだ『LTA 基礎コースオンデマンド研修プログラム』を校内研修にて活用し、掲載されている動画を職員に視聴してもらう予定である。そこで新たに得た知見をもとに職員同士で対話する機会を設け、職員の学びを深めることを期待している。(令和7年2月27日実施予定)
- ・令和7年3月22日(土)・23日(日)開催予定の『日本教師学学会』において、金沢星稜大学 講師 柳川公三子先生とともに校内研究の実践に関するポスター発表を行い、次年度の課題解決の糸口としていく予定である。



## 今後の課題

- ・職員の研究・研修に対する負担感の払拭と学び続けていこうとする職員集団の育成
- ・日常的に子どもの学びの過程に寄り添い、授業改善につなげていく姿勢の醸成
- ・さらなる対話の活性化による同僚性の構築と心理的安定性が高い職場づくり
- ・校内研修で学びたいことを職員向けアンケートにおいて収集し、「合わせた指導(生活単元学習)」についての研修のニーズが高いことが明らかになった。参加した学会において広島都市学園大学 教授 竹林地毅先生に直接研修を依頼することができ、演習も含めた研修を令和7年8月1日(金)に行う予定である。